

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

学校名		佐賀市立金泉中学校		
1 前年度 評価結果の概 要	<ul style="list-style-type: none"> 単元課題(単元を貫く問い)や授業の学習内容・めあてを提示し、振り返り記入欄を設けた単元計画・振り返りシートを各教科各単元で作成する。また、成果指標を見直す。 ICT研修や家庭学習の充実、振り返りシートの活用、パフォーマンステストの改善を進め、学びの質を高めていく。 生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組むために、キャリア教育の一環として「働く人に学ぶ会」、「先輩に学ぶ会」、「職場体験活動」などを行っている。さらに地域との連携を見据えて取り組んでいく。 業務改善・教職員の働き方改革の推進については、時間外在校等時間の平均時間や月平均45時間以上の教職員の割合がどちらも昨年度より減少しており、少しずつではあるが多忙化解消ができてきている。さらに、学校行事の精選などに取り組んでいく。 			
2 学校教育目標	<p>元気あふれる学校 ～志をもち 夢をかなえる学校～</p>			
3 本年度の 重点目標	<p>①社会に関われた教育課程の実現 ②地域全体で子どもの多様な未来を拓く ③安心・安全な学校づくり(集団に不応を起こしている生徒への対応)</p>			
4 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				
	重点取組			主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	○(学校独自重点取組)単元計画・振り返りシートを活用した金泉授業の実践	○学校評価アンケートで「コンピュータを使った学習によって、理解が深まりましたか。」という問いに対して肯定的に回答した生徒80%以上を目指す。 ○学校評価アンケートで、「授業の振り返りを通して、どんな学習が必要かが分かり、家庭学習や復習をすることができた。」という問いに対して肯定的に回答した生徒90%以上を目指す。 ○家庭学習の時間(雄飛メソッド)を1日120分以上とする。	・ICTを活用して学びのスタイルを多様化させるための研修を行い実践していく。また、ICTを活用した家庭学習も取り入れて、学習内容の定着を目指す。 ・単元計画・振り返りシートを活用した金泉授業を各学年で実施する。 ・パフォーマンステストとその評価についての情報交換会を校内研究会で行う。	研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○◎学校評価アンケートで、「道徳の時間では自分の行動を振り返って、自分の生き方を見つめなおしているか」という問いに対して肯定的に回答した生徒85%以上を目指す。	・道徳の時間を通して、命を大切にできる心、思いやりと感謝の気持ちを育む心、規律やルールを守る心を養う授業を行う。 ・学校行事前後の道徳の時間において、活動を有意義にするための心を養う内容を取り扱う。また、活動後に自分や他者を承認する場を設け、自他に目を向ける中で、多様なものの見方に触れ、心豊かな生き方の追求を目指す。	道徳担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○学校評価アンケートで、「学校はいじめを許さない雰囲気作りにも努めていると思うか」という問いに対して肯定的に回答する生徒、保護者ともに100%以上を目指す。 ○毎月の生活アンケートで、「楽しい学校生活が送れた」と答える生徒90%以上を目指す。	・生徒集会での「いじめ0宣言」の復唱、全校朝会やお話タイムの実施でいじめを許さない環境を作り、毎月の生活アンケートの実施で早期認知・対応を行う。 ・開発的な取組の強化を図り、生徒一人一人に出番を設定し、生徒一人一人が役割を選択して、達成するための指導をきめ細やかにし、承認することで自信をもたせる。	生徒指導主事
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●学校評価アンケートで、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●◎学校評価アンケートで、「将来の夢や目標を持っている」と肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学校行事、係活動、生徒会活動等あらゆる場面で、開発的な取組の強化を図り、出番・役割、承認のスパイラルを行う。 ●◎発達段階に応じた進路指導として、各学年において系統的な取組を行う。	学年主任
	○人権・同和教育の推進	○学校評価アンケートで、「差別をしない、許さない事の大切さに気づくことができたか」という問いに対して肯定的に回答した生徒90%以上を目指す。	・年間を通じた活動や人権週間の取り組み等で、人権意識を高める。 ・部活動学習の実施や人権・同和教育に関する職員研修の充実(確実な実施)を図る。	人権・同和教育担当
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●学校評価アンケートで、「健康に良い食事をしている」という問いに対して肯定的に回答する生徒90%以上を目指す。 ○学校評価アンケートで、「朝食をとって登校している」という問いに対して肯定的に回答する生徒90%以上を目指す。	・各学年の指導目標に合わせた題材で栄養士による講話を行い、食事の重要性について意識を高める。 ・生徒会と協力し、生活状況調査、食に関する意識調査を実施し、朝食摂取を推進する。 ・保健だよりや給食だよりを通して、子どもの食の問題点を提起し、家庭における食生活改善への関心を高める。	養護 食育担当
	○安全に関する資質・能力の育成	○学校評価アンケートで、「避難訓練、安全指導教室、薬物乱用防止教室により、命を大切にするという意識が高まったか」という問いに対して肯定的に回答する生徒90%以上を目指す。 ○生徒の生活事故・交通事故の発生割合が前年度以下を目指す。	・命の大切さを実感できる外部機関を活用した性に関する指導、食育教室や薬物乱用教室を開催する。また、より生徒の理解を深めるために、保健だより等の各種通信において講演等の内容を家庭に周知する。 ・生徒の危険回避能力や危険予知能力を向上させるとともに、日頃からの指導や地域・家庭・関係機関との連携を図る。	養護 安全担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○上期、下期で時間外在校等時間の平均が前年度以下を目指す。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・毎週水曜日の定時退勤日の徹底を行う。 ・毎日の業務記録票記入による勤務実態把握と分析を行う。 ・部活動計画の提出、確認により平均週8時間、週の2日を休養日にすることを徹底する。	教頭
	○業務改善・教職員の働き方改革の推進	○学校評価アンケートで「学校行事等の精選および、職員の多忙化の解消ができたか」という問いに対して肯定的に回答した教職員80%以上を目指す。	・学校行事について、内容の精選を踏まえて提案し、反省点と改善点を記録していく。 ・校内LANを活用した業務の効率化、サーバー内の整理を行い、職員間での情報共有を促進する。	教頭
●特別支援教育	○特別支援教育の充実ため、特別支援教育の視点を入れた教室環境に取り組む。	○学校評価アンケートで「ユニバーサルデザイン教育の視点から授業が受けやすい環境である」という問いに対して肯定的に回答した生徒80%以上を目指す。 ○WebQUIにおいて学校生活満足度の指標が全国平均を上回る。	・ユニバーサルデザイン教育の視点に立った学級経営・各教科授業・教室環境整備を行う。 ・WebQUIの分析、発達障害等についての理解を図るため、研修により職員のスキルアップを図る。 ・関係機関(児童養護施設、児童相談所、医療機関、法務少年支援センター)及び関係者との連携を強化し、支援体制の充実を図る。	特別支援コー ディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				
	重点取組			主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	
○地域連携	○学校運営協議会をいかした地域との連携の充実	○学校評価アンケートで「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う」という問いに肯定的な回答をする生徒80%以上を目指す。	・生徒が地域行事に積極的に参加できるように、学校運営協議会の中で情報を共有する。 ・生徒のボランティア活動に対する意識を高めるために、保護者・地域の方との連携を図る。 ・地域の方をゲストティーチャーとして招聘したり、職場体験活動で事業所等との交流を行う。	教頭 教務主任
○小中連携	○9か年を見通した小中連携の推進	○学校評価アンケートで、「子どもの育成に取り組んでいる」という問いに対して肯定的に回答した保護者80%以上を目指す。	・金立小・久保泉小・本校の雄飛学園教育「めざす15歳の春」を共有し、系統的な教育活動を展開する。 ・授業公開を年間3回以上設定し、共通課題・実践についての意見交換を行う。 ・雄飛学園教育合同研修会を開催し、各種研修会や児童生徒理解を深め、個に応じた具体的指導の手立てについて協議する。 ・雄飛学園新入学説明会等を通じ、中学生と小学校との交流を深め、いわゆる中1ギャップを軽減し、スムーズな移行を図る。	教頭 教務主任
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望				